令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立晴明丘小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	阿倍野区
学　校　名	大阪市立晴明丘小学校
学 校 長 名	橋本　智恵人

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立晴明丘小学校では、第６学年　104名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立晴明丘小学校の結果概要

国語科が61%（大阪市平均59%、全国平均60.9%）、算数科が60%（大阪市平均56%、全国平均56.4%）となり、いずれの教科も全国平均を上回る結果となりました。また、児童質問紙については、「国語の勉強が好きですか」について、肯定的な回答の割合が５２．９（大阪市平均５９．７、全国平均５７．４）と下回りました。また、「算数の勉強は好きですか」について肯定的な回答の割合は、６６．３（大阪市５６．０、全国５７．６）と、大きく全国の割合を上回りました。「学校に行くのは楽しいと思いますか」について肯定的な回答の割合は、９０．４（大阪市８３．４、全国85.7）と、大きく全国の割合を上回りました。【評価の観点から見た傾向】国語科「A話すこと・聞くこと」67.9%（大阪市63.1%、全国65.8%）と、全国平均を上回る結果が得られました。「B書くこと」42.8%（大阪市44.2%、全国45.7%）本校の全領域の中で最も低く、全国平均を下回る結果となりました。「C読むこと」70.2%（大阪市66.0%、全国65.9%）は、全国平均を上回る結果となりました。算数科は、基盤となる「A数と計算」62.5%（大阪市61.2%、全国61.1%）は、全国平均を上回り、基礎的な計算力や概念理解が定着しています。「B図形」57.2%（大阪市54.5%、全国55.3%）、「C測定」78.8%（大阪市７７．５%、全国78.1%）、表や式から数量の規則性を捉える「C変化と関係」51.0%（大阪市40.3%、全国41.1%）は、全国平均から約１０ポイント大きく上回りました。「Dデータの活用」５１．７%（大阪市４８．８%、全国４８．６%）と、全国平均を上回りました。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】
成果…説明文や物語などの文章を読み取って内容を理解する「読むこと」の正答率は70.2%に達し、全国平均（65.9%）を4ポイント以上上回っています。また、相手の話を聞いたり、自分の考えを伝え合ったりする「話すこと・聞くこと」（67.9%）や「情報の扱い方」（55.8%）も良好です。
課題…自分の考えや理由を筋道立てて文章にまとめる「書くこと」の正答率が42.8%（大阪市44.2%、全国45.7%）と、全体のなかで最も低くなっています。また、言葉のきまりや語彙の適切な使い方に関する問題（64.2%）も全国平均（66.8%）を下回っており、語彙力の拡充が求められます。
【算数】成果…学習指導要領のすべての領域（数と計算、図形、測定、変化と関係、データの活用）において、大阪市および全国平均を上回りました。特に、長さや面積などを扱う「測定」（78.8%）や、土台となる「数と計算」（62.5%）がしっかりと身についています。また、表や式から数量の規則性を捉える「変化と関係」（51.0%）は、全国平均（41.1%）を約10ポイント大きく上回りました。
課題…「変化と関係」（51.0%）や、グラフや表から傾向を読み取る「データの活用」（51.7%）は他地域と比べて高いものの、正答率自体は約半数にとどまっています。複数の資料を比べて「なぜそう言えるのか」を説明する力をつける必要が見られます。

質問調査より

「学校に行くのは楽しいですか」について、肯定的に回答した割合は、本校の昨年度の86.4より90.4と4ポイントも上昇しました。（大阪市83.4、全国85.7）これは、大阪市や全国よりも割合が高く、本校の取り組みとして「いいところみつけ」を学期末に行うなど、学校全体の取り組みとして毎年続けている成果と考えられます。「学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」について肯定的に回答した割合は、昨年度の81.8から今年のの81.7と、0.1ポイント下降しました。（大阪市84.0、全国85.7）授業では、ペアやグループでの交流や学級全体での話し合い等を取り入れていますが、「意見の交流」にとどまり、互いの考えを比較し自分の思考を深めるところまで達成したと感じられた子どもが少なかったことが考えられます。

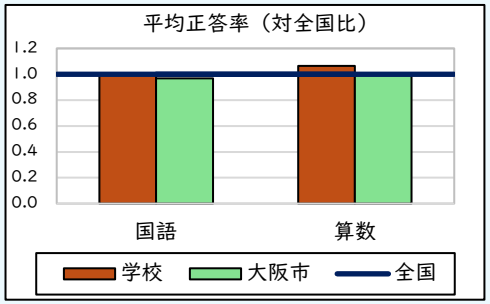
今後の取組（アクションプラン）

〇「書く」機会を増やし、表現する力を育てる指導…各教科の授業の終わりに「今日わかったこと」「考えたこと」を自分の言葉でノートに短く書く活動を積み重ね、文章を書くことへの自信を育みます。「私はこう考えます。なぜなら～だからです」といった、文章の基本の組み立て方を身につけられるよう指導します。
〇根拠をもとに説明し合う授業づくり…算数科では、答えを出すだけでなく「どうしてその式になるのか」「グラフのどこを見てそう判断したのか」を言葉や図で友だちに説明し合う学習を大切にしていきます。
〇ICT機器を積極的に活用し、子どもたちの学習への理解につながる授業の工夫を行います。
〇子どもたちが学級内や異学年間で交流できる機会を積極的に取り入れ、互いに認め合える場の設定を行います。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

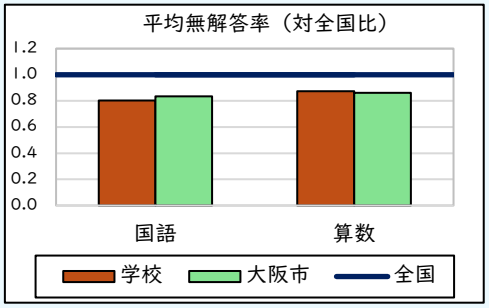
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	61	60
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



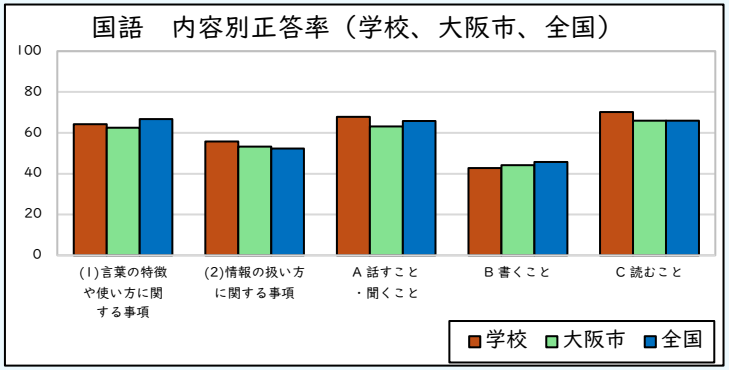
平均無解答率（%）

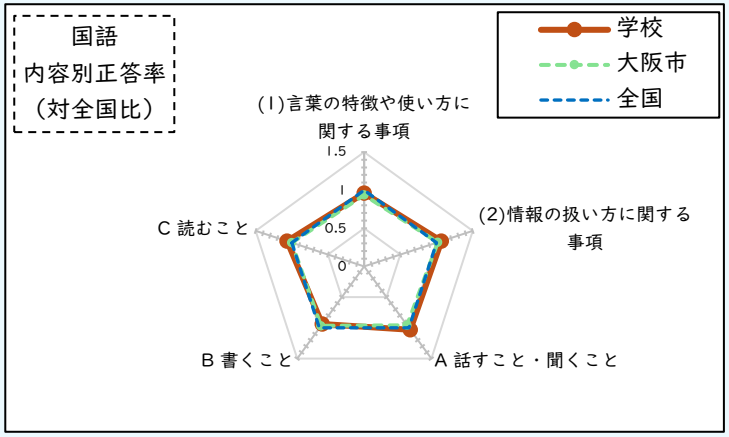
	国語	算数
学校	2.7	2.8
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

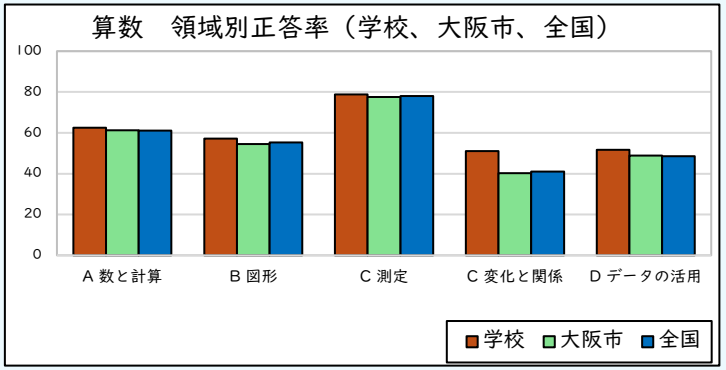
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	64.2	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	55.8	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	67.9	63.1	65.8
B 書くこと	2	42.8	44.2	45.7
C 読むこと	2	70.2	66.0	65.9

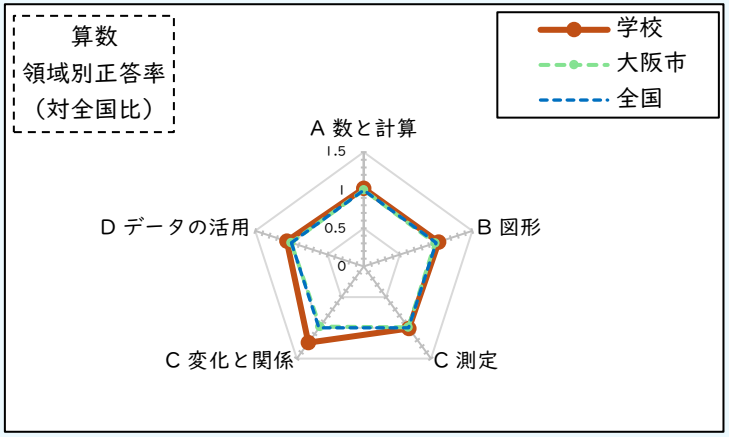




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	62.5	61.2	61.1
B 図形	4	57.2	54.5	55.3
C 測定	1	78.8	77.5	78.1
C 変化と関係	3	51.0	40.3	41.1
D データの活用	4	51.7	48.8	48.6

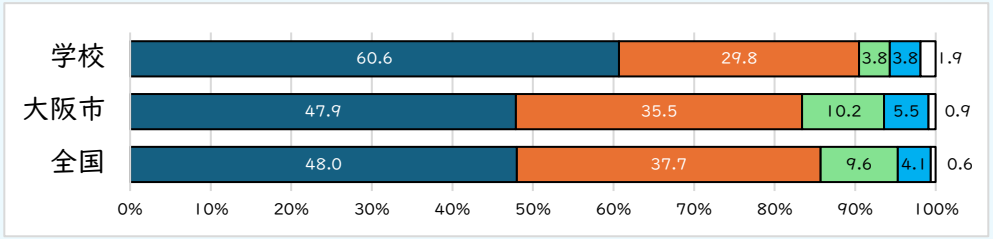


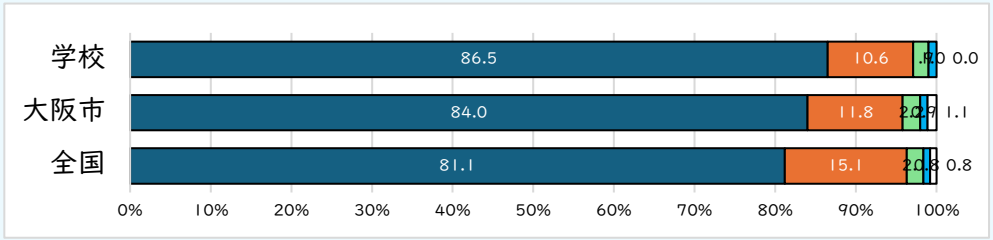


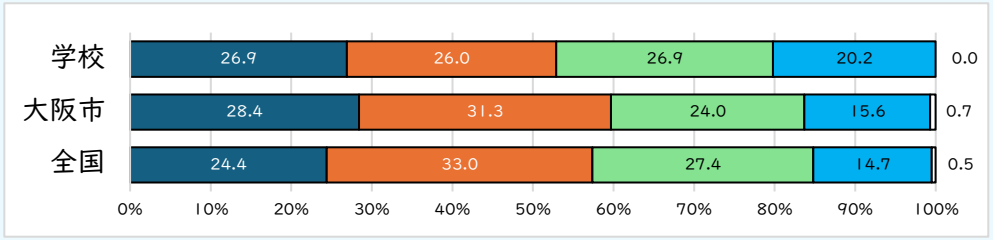
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

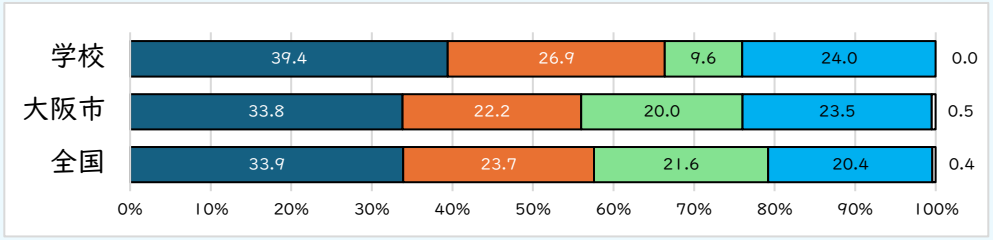
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

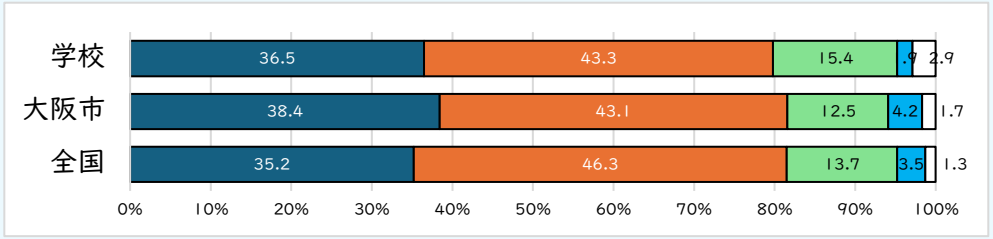
質問番号	質問事項
（15）	学校に行くのは楽しいと思いますか
（12）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
（53）	国語の勉強は好きですか
（61）	算数の勉強は好きですか
（49）	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか











1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

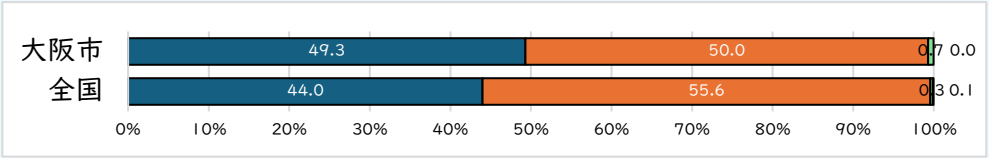
令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号	質問事項
（16）	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

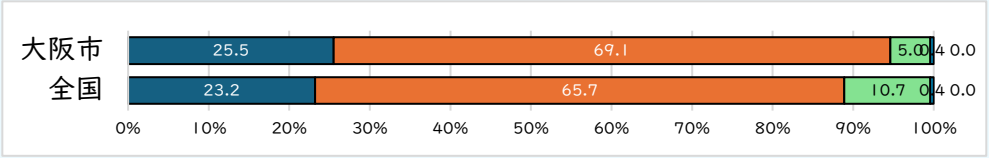
【学校の回答】　1　十分に取り入れている



1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入れていない

（7）	調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

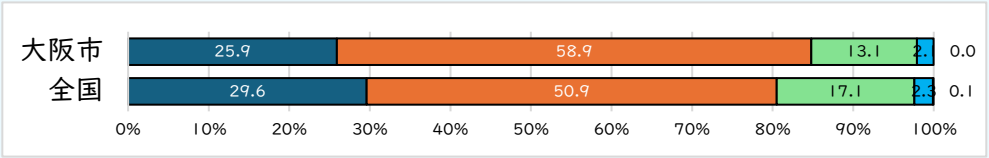
【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（25）	教職員にとって、学校施設全体として、教職員が働きやすく、居心地のよい建物だと思いますか

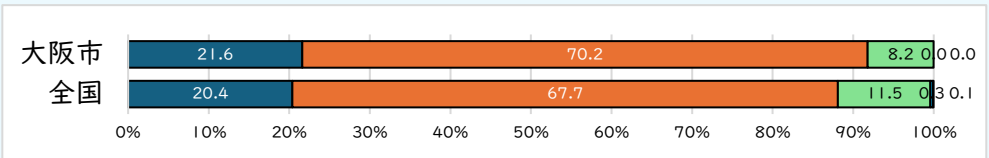
【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（26）	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

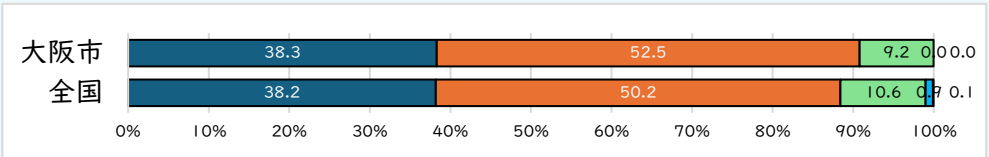
【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

（23）	ストレスチェックの結果の活用や研修など、教職員自身の心身の健康状態につき振り返り対処する機会が提供されていますか

【学校の回答】　2　どちらかといえば、そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない